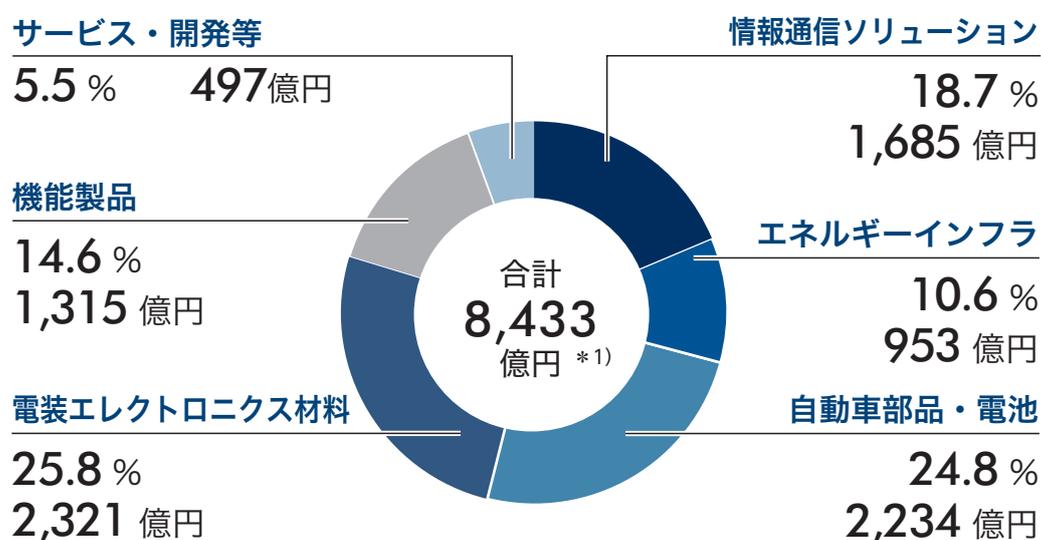


セグメント別売上高構成比率 (連結 2017年3月期)



*1) セグメント間の内部売上高および振替高を相殺消去した数値です。

■ 売上高

(億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
インフラ	—	—	—	2,527	2,638
情報通信ソリューション	—	—	—	1,591	1,685
エネルギーインフラ	—	—	—	935	953
電装エレクトロニクス	—	—	—	4,911	4,555
自動車部品・電池	—	—	—	2,341	2,234
電装エレクトロニクス材料	—	—	—	2,570	2,321
機能製品	—	—	—	1,363	1,315
サービス・開発等	—	—	—	515	497
調整額	—	—	—	-567	-570
合計	9,247	9,318	8,678	8,749	8,433

■ 営業利益

(億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
インフラ	—	—	—	77	143
情報通信ソリューション	—	—	—	80	142
エネルギーインフラ	—	—	—	-3	1
電装エレクトロニクス	—	—	—	105	128
自動車部品・電池	—	—	—	80	101
電装エレクトロニクス材料	—	—	—	24	27
機能製品	—	—	—	85	117
サービス・開発等	—	—	—	4	-1
調整額	—	—	—	1	-0
合計	178	255	179	271	386

■ 売上高営業利益率

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
インフラ	—	—	—	3.1%	5.4%
情報通信ソリューション	—	—	—	5.0%	8.4%
エネルギーインフラ	—	—	—	-0.3%	0.2%
電装エレクトロニクス	—	—	—	2.1%	2.8%
自動車部品・電池	—	—	—	3.4%	4.5%
電装エレクトロニクス材料	—	—	—	1.0%	1.2%
機能製品	—	—	—	6.2%	8.9%
サービス・開発等	—	—	—	0.8%	-0.3%
調整額	—	—	—	-0.1%	0.1%
合計	1.9%	2.7%	2.1%	3.1%	4.6%

※ 2016年度より報告セグメントの区分を変更いたしました。

過去の実績は、2015年度のみ新区分に置き換えた内訳を、2014年度以前は合計値のみを記載しています。

情報通信ソリューション

事業部門

ファイバ・ケーブル、ファイテル製品
ブロードバンドソリューション

2016年度 決算

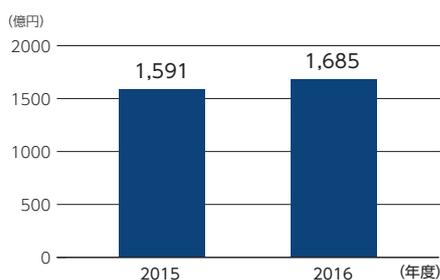
連結売上高 1,685億円 (前期比5.9%増)

連結営業損益 142億円 (前期比78.0%増)

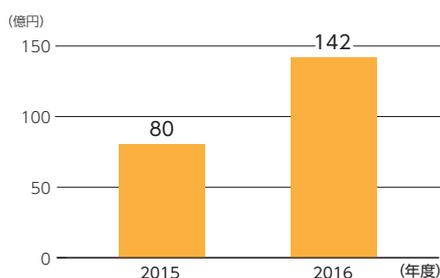
情報通信ソリューション事業では、欧米や中国を中心に光ファイバ・ケーブル需要が旺盛であり、これらを背景に価格水準が好転したほか、高付加価値品である海底ケーブル用低伝送損失光ファイバの売上が増加しました。また、デジタルコヒーレント関連製品の販売も堅調に推移しました。

また、本年4月に、NTTエレクトロニクス(株)との合併により、光半導体デバイスの製造会社(当社出資比率60%)および平面光波回路製品の製造会社(当社出資比率20%)をそれぞれ設立しました。各々の特徴ある技術を組み合わせるとともに互いの経営資源を効率的に配分し、光部品の需要増に対応できる生産体制の構築および収益力の強化を図ります。

売上高の推移



営業利益の推移

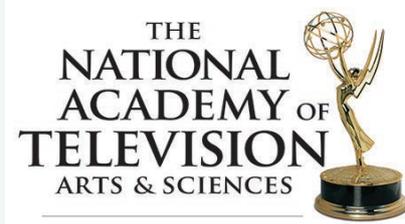


2016年度 主なトピックス

11月

▶米国子会社OFSがエミー賞を受賞

～「光ファイバケーブルの先駆的な発明と展開」での貢献で、米国テレビ芸術科学アカデミーが主催する「技術・工学エミー賞」を受賞～



12月

▶NTTエレクトロニクス(株)と、光半導体デバイスおよび平面光波回路製品の製造会社2社の設立に合意(⇒2017年4月設立)

～急激な成長を遂げているクラウド・サービスなどに必要な光部品の需要に対応するため、より安定的・効率的な生産体制を構築～

3月

▶高速大容量通信を実現する狭線幅・高出力の小型ITLAの開発に成功

～100Gbps 超の高速光デジタルコヒーレント伝送装置向けにサンプル出荷を開始～



狭線幅・高出力 小型ITLA

エネルギーインフラ

事業部門

電力、産業電線・機器

2016年度 決算

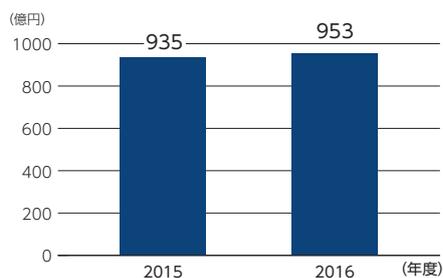
連結売上高 953億円（前期比1.8%増）

連結営業損益 1億円（前期比4億円改善）

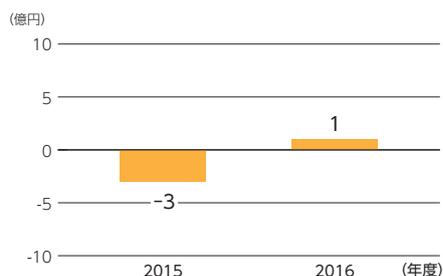
エネルギーインフラ事業では、昨年10月に、(株)フジクラとの合併会社である(株)ビスキャスから地中送電線および海底送電線事業の国内部門を譲り受けました。これにより売上が増加した一方、一時的な業務統合費用の発生や、国内電力事業者向け送配電部品の需要低下が利益を圧迫しました。

一昨年4月に同社より譲り受けた海外部門と一体的に運営することで、今後、超高压電力事業の案件受注活動を国内外で加速してまいります。

売上高の推移



営業利益の推移



2016年度 主なトピックス

7月

▶シンガポールで最大級の超高压電力ケーブル布設プロジェクトを受注

～超高压電力ケーブルの品質とプロジェクト管理体制が高評価～



超高压電力ケーブル敷設工事現場

7月

▶超軽量の低圧分岐付きアルミ電力ケーブルを初納入

～モールド加工による絶縁を施し、軽量化と省力化を実現～



超軽量ハイブリッド・ビル用ハーネスケーブル

10月

▶(株)フジクラとの合併会社である(株)ビスキャスから地中送電線および海底送電線事業の国内部門を譲り受け

自動車部品・電池

事業部門 | 自動車部品、電池

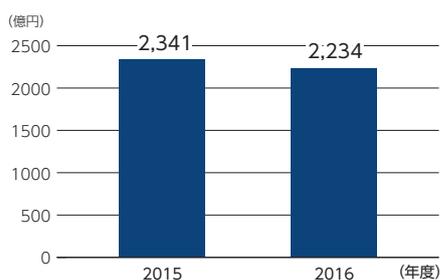
2016年度 決算

連結売上高	2,234 億円 (前期比 4.6%減)
連結営業損益	101 億円 (前期比 25.3%増)

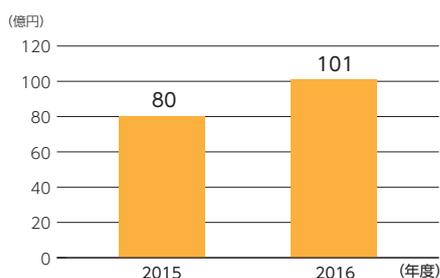
自動車部品事業では、国内向けワイヤハーネスの販売が低調であったものの、前年度から取り組んできたメキシコ製造拠点などの生産効率改善活動の効果が現れてまいりました。

中国およびタイにおける設計・営業を行う統括会社により、中国・ASEANでの売上拡大を推進するほか、各地域でのワイヤハーネス生産体制の最適化を進め、収益性の向上に努めてまいります。

売上高の推移



営業利益の推移



2016年度 主なトピックス

1月 ▶世界トップレベルの検知性能、車載用新型「周辺監視レーダ」の本格量産を開始
 ~将来の自動運転システムの実現にも大きく貢献~



周辺監視レーダ

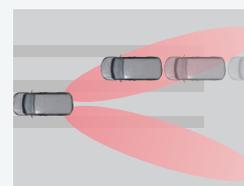
通信インフラ事業で培った信号伝送技術や高周波技術を組み合わせ、当社独自のセンシング技術（パルス方式）で、車の後方や死角にいる歩行者や障害物を検知します。



後退時接近物検知



死角検知



車線変更補助

電装エレクトロニクス材料

事業部門

導電材、巻線、銅条・高機能材、銅管

2016年度 決算

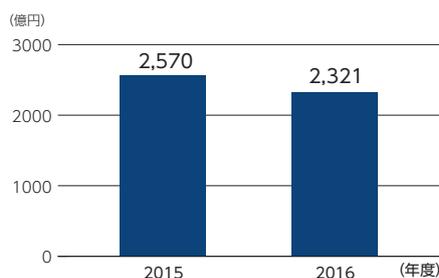
連結売上高 2,321 億円 (前期比9.7%減)

連結営業損益 27 億円 (前期比12.1%増)

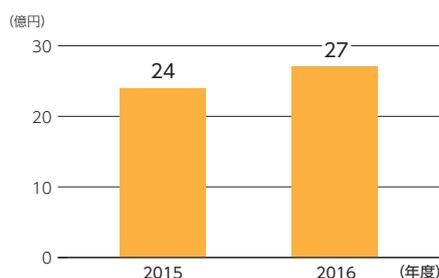
銅条・高機能材事業において、伸銅品の販売数量が2014年(平成26年)2月に発生した日光事業所での雪害以前の水準まで回復したものの、銅地金価格下落の影響により売上高が減少したほか、一部製品について開発費用の一時的な増加もありました。

巻線事業において、本年3月に Superior Essex Inc. (米国) グループとの合併により、自動車の駆動モーターなどに用いられる耐高電圧の平角巻線の製造・販売会社(当社出資比率49%)を、ドイツに設立しました。同製品を需要地で製造・販売できる体制を構築し、欧州のEV・PHV車向け巻線市場へ参入していきます。

売上高の推移



営業利益の推移

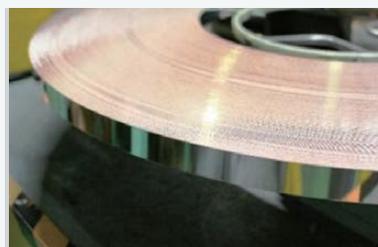


2016年度 主なトピックス

3月

▶自動車端子向け耐熱低挿入力Cu-Snめっき材を開発

～耐熱性を維持しつつ更なる低挿入力を実現、ワイヤハーネス用の端子に最適～



耐熱低挿入力Cu-Snめっき

▶ Superior Essex社と欧州JV会社を設立

～欧州のEV・PHV車向けに耐高電圧巻線を地産地消で供給できる体制を構築～



▶日本で初めて無酸素銅「C1011」のJIS規格を取得

～無酸素銅の最高JIS規格の認証取得(認証機関による第1号)～



C1011 コイル

機能製品

事業部門

AT・機能樹脂、サーマル・電子部品、メモリーディスク、銅箔

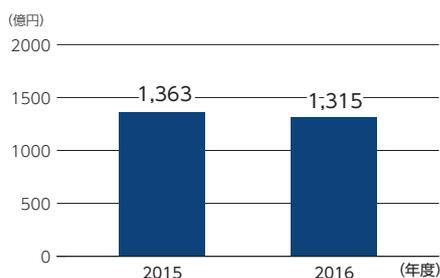
2016年度 決算

連結売上高	1,315億円 (前期比3.5%減)
連結営業損益	117億円 (前期比38.1%増)

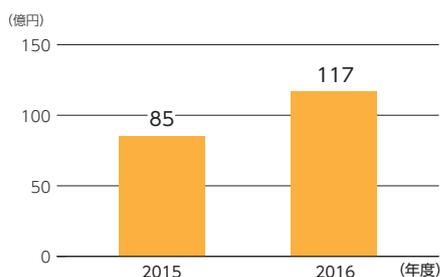
AT・機能樹脂製品事業において半導体製造用テープの販売増があったほか、銅箔事業における需要増や台湾への製造移管などによる構造改革効果、高周波用箔など高付加価値品の売上増がありました。一方、サーマル・電子部品事業においては、パソコン用放熱製品などの需要が低迷しました。

発泡製品について、ドイツ子会社のTrocellen GmbHを中心に、欧州・北米において建材および自動車向けの市場開拓を図ってまいります。

売上高の推移



営業利益の推移



2016年度 主なトピックス

3月

▶半導体の品質向上に大きく貢献、新型「半導体用テープ」の開発に成功

～「レーザーグルーピング(溝加工)+プラズマダイシング工法」向け部材として本格量産開始～

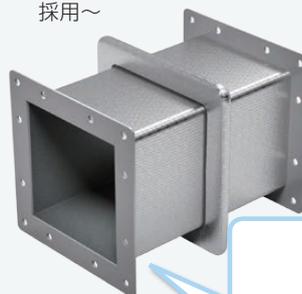


半導体用テープ

10月

▶施工現場の環境改善と施工時間短縮に貢献、新型「空調ダクト」断熱材を開発

～「不燃性樹脂発泡体」系断熱材を日本で初めて採用～



ダクト断熱エース
ダクト本体用断熱材



インナーテープ
フランジ結露防止用



フランジカバー
フランジ部断熱および意匠用

